



# 「Catch Ball キャッチボール」

～地域に開かれた農場を目指して～

住 所：〒014-0054 大仙市大曲金谷町 26-9

電話番号：0187-63-2257・Fax 0187-62-3434(大嶋農場:Fax 兼用 0187-68-2381)

U R L：<http://www.daino-h.akita-pref.ed.jp>

\* 農場便りに関するお問い合わせ農場経営部までご連絡下さい。

## 金谷農場

### ◆農場長より(高橋寿徳)

収穫の秋がやってまいりました。毎年この時期には多数のイベント（農産物販売等）への依頼が殺到します。先日10月1日、2日は郷土芸能部が東京の有楽町駅や上野駅で民謡や手踊りを披露してきました。10月1日の秋田市で行われた恒例の農水フードフェスティバルでは大農産の農産加工品がたったの9分で完売という大盛況でした。これからは10月8日、9日の果樹試験場でのファミリーフェスティバル、22日、23日の大仙市秋の稔りフェア、29日、30日には秋田県種苗交換会での農産物販売と多方面で大農生徒の頑張りや実習成果をご覧いただくこととなっております。是非おいでください。

尚、22日、23日には大農最大の行事「大農祭」が行われます。22日の「仮装行列」、23日の農産物販売、模擬店、ステージ発表をお楽しみにしてください。毎年1000人を超える来校者があります。お気をつけておいでください。

### ◆施設野菜部門より(平塚・高橋恵)

メロンの収穫が終わりました。

今年の夏も暑く、メロンにとっては過ごしやすかったと思いますが作業している人間にはつらい環境でした。収穫したメロンは今後フードフェスティバルや各種行事で販売する予定です。

ハウレンソウ・コマツナの収穫が始まっています。まだまだ暑く、ハウスの中には小さな虫が発生していますができる限り安全でおいしい野菜の収穫に尽力中です。無農薬で安全な秋の葉野菜。ぜひお買い求めください。

### ◆露地野菜部門より(佐藤文・佐々木鶴)

異常気象、台風の影響で畑は非常に困ったことになっています。特に菜類に関しては、てきめんです。本校でも、ハクサイ、キャベツブロッコリー、ネギに関して倒伏の被害がありました。部門職員、生徒のみなんで補修しましたが、不安な毎日をすごしています。大農祭ではりっぱなネギ等を販売したいと思っているのですが・・・

### ◆花卉部門より(小松・山代)

朝夕めっきり涼しくなってきました。それとともにシクラメンや葉ボタンが元気に育ってきています。現在シクラメンは「葉組み」という葉や花芽の数を増やす作業を行っています。葉ボタンは少しずつ色付いてきました。大農祭で販売できるよう生徒のみなさんが実習を通してがんばっています。

### ◆果樹部門より(藤井・工藤)

果樹の収穫は数週間遅れで進んでいます。今後もリンゴ・ブドウの収穫・販売が続きますのでよろしくお願いいたします。

甘い香りの漂うようになったブドウ園にスズメバチが来ています。危険ですので近づかないようにしてください。打つ手が無く悩んでいるところですが、何か効果的な対策がありましたらお知らせください。

### ◆食品加工部門より(伊藤寿・瀬田川)

10月23日(日)の大農祭に向けて製品作りを頑張っています。

大農伝統のぶどう液「キャンベル」・「スチューベン」を製造中です。クエン酸が夏ばて解消のお手伝い、氷を入れてご賞味下さい。キウイジャム・イチゴジャム・ブドウジャム・ブルーベリージャムを販売しております。冷たいアイスクリーム、ヨーグルトとの相性は絶品です。

地元のお米、大豆で熟成させた「大農味噌」は県外の卒業生の超人気製品です。日本の伝統食品はふるさとの香り・味をお届けします。

## ◆生物学部門より(坂本寿・大沼・齊藤・佐藤潤)

生物学の生徒は、地球温暖化防止活動と田沢湖水の水質改善についての研究を行っています。ここではこの2つの研究の進展状況についてお知らせします。

・地球温暖化防止についての研究：昨年度本校で栽培した農作物の収穫状況とその主要輸出国から日本までの距離から、フードマイレージを算出しています。これにより、本校の農作物栽培がどれだけ地球温暖化防止に貢献しているのかが分かります。

・田沢湖水の水質改善についての研究：酸性の田沢湖の水は、水の電気分解という方法を使って中性にできることが分かっています。現在は、中性にした田沢湖の水の中でも水生生物が生息可能かどうかを調査検討しています。

これらの研究は新聞、ラジオ、テレビなどで報道されています。これからも生徒の研究へ応援をお願いします。また報告を楽しみにしててください。

## 大嶋農場

### ◆大家畜部門より(芳賀、冨樫)

9月21日「だいのうかつ」をセリに出しました。原発の風評被害のため、価格は想像の半値でした。今後、畜産業はどうなるのでしょうか、、、。

嬉しいお知らせがあります。9月28日「だいのうさくら」「だいのうりん」の2頭が妊娠していることがわかりました。獣医さんが直腸検査でモニターを使用し、元気に動く胎児を確認しました。予定日は、4月21日と5月1日で春生まれになります。

「だいのうてる」は、太りすぎのため、1ヶ月半の減量をしていましたが、同日発情が確認され、人工授精を行いました。「大農松」は、順調に発育しています。最近、顔のサイズが大きくなった気がするので、きっと体も大きくなるはずです。

### ◆中家畜部門より(堀部、小林)

この頃は気温的にも過ごしやすくなり、ブタも「食欲の秋」に入りました。肥育されている6頭もまもなく出荷となります。出荷まで暖かく飼育をお願いします。

今年度は、福島原発の影響もあり、豚価は例年になく好調を維持しています。

今後は、来年に向けた母豚への種付け（人工授精）を進めて、来年度こそ安定生産が行われるように頑張っています。順調に受精すれば、1月後半には、ベビーラッシュになりそうです。

### ◆小家畜部門より(田口健一、冨樫)

ニワトリたちは元気に卵を産んでくれています。大農祭で販売の際にはぜひご購入ください。

### ◆作物部門より（高橋寿、佐々木孝、佐々木周、黒田）

9月26日（月）から稲刈りを始めました。刈り取っている品種は「あきたこまち」です。好天に恵まれ、清々しい中での稲刈りとなりました。

